



人生の節目にお寺がある



人生には、たくさんの節目があります。

その一つひとつの節目を私たちは大切にしていまいりました。

それは、竹は節があることで折れることなくしなやかであるように、私たちの人生もその節目を大切にすることで、人生に押し寄せる様々な出来事をしなやかに受けとめてきたのでしょう。

仏教でも、この人生に起こってくる悲喜の節目を縁として、この「いのち」をしっかりと見つめてまいりました。

ぜひ人生の節目にはお寺にお参りいただき、ご一緒にこの「いのち」、そしてこの人生の歩みを確かめる時といたしませんか？

この節目を縁として集う方々とともに、阿弥陀さまの前で手を合わせていただくことを願っております。

発行
真宗大谷派（京都・東本願寺）
東京教区 教化委員会 広報出版部門
〒177-0032 東京都練馬区谷原 1-3-7
TEL:03-5393-0810 FAX:03-5393-0814
mail:tokyo@higashihonganji.or.jp



寺印

き きょう しき 帰敬式を 受式しませんか？



真宗大谷派
(京都・東本願寺)

❖ いま、あらためて人生をみつめ直す ❖

大切な人を亡くして

自分の生き方を見つめ直したい

祖父母、両親の願いを受けて

教えを深く学びたいと思って

終活として

生きていく中で必ず転機を迎えるときがある。

私の生きている意味とは何であろうか？

自分の人生に、私自身が向き合う「いま」だからこそ
この帰敬式がその「はじめの一歩」となる。

帰敬式、それはあなたの第二の誕生日。

◆ ぶつでし 仏弟子としての歩みを ◆

帰敬式とは、お釋迦^{しゃか}さまの弟子（仏弟子）としての名のりである「法名^{ほうみょう}」をいただき、これからの人生を浄土真宗の教えを拠りどころとして生きていくことを阿弥陀さま（阿弥陀如来^{あみだにょらい}）の前で誓う大切な儀式です。それは仏法^{ぶつぽう}に照らされた生活が始まっていくことを意味し、新たな人生の出発といえます。

法名をいただく時期は人それぞれですが、私自身が問われた「いま」が、まさにその機縁といえましょう。

仏弟子として、ともにお念仏の道を歩まれることを心より願い、皆さまの受式をお待ちしております。



ききょうしき 帰敬式ってなに？

真宗門徒として新たな人生を歩み出す儀式です。帰敬式には髪をおろすことを表現する剃刀の儀（おかみそり）があり、受式すると法名を授かります。
※実際に髪は剃りません。



ほうみょう 法名ってなに？

親鸞聖人は自らを「釋親鸞」と名のられました。それ以来、お釋迦さまの弟子（仏弟子）の証として、「釋」の字を入れて「釋〇〇」「釋尼〇〇」の法名を授かります。決して死後の名前ではありません。

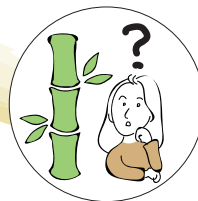


法名と戒名の違いとは？

法名も戒名も仏弟子・仏教徒として生きる名前です。基本的に戒名は戒律を守る証として授かるのに対し、法名は浄土真宗の教え（南無阿弥陀仏の教え）に生きる者としての願いが込められています。

どんな時に受式するの？

受式に年齢制限はなく、いつでも受式できます。人生の再出発や新たな人生を歩み出す意味もありますので、お寺までご相談ください。



● どこで受式できるの？

真宗本廟（京都・東本願寺）、またはお付き合いのあるお寺で受式できます。詳しくはお寺までご相談ください。



● 時間はどのくらい？

1時間程度です。詳しくはお寺までお尋ねください。



● どんな服装がいいの？

特に決まりはありません。念珠を持ち、無理のない服装でお越しください。



● 受式した後はどう生活すればいいの？

浄土真宗の教えを聞く場（お付き合いのあるお寺の行事など）に積極的に足を運ぶ生活をはじめましょう。



帰敬式 プログラム ※一部省略

1. 開式の辞
2. 剃刀の儀（おかみそり）
3. 法名伝達
4. 誓いの辞
5. お勤め（勤行）
6. 法話
7. 閉式の辞

※詳しくはお寺までお尋ねください。



りやくかたぎぬ 『略肩衣』について

帰敬式では記念品として略肩衣をお渡ししています。略肩衣は仏さまにお参りするときに肩にかけます。真宗門徒の具体的な姿としてお寺やお内仏にお参りする際に、念珠・勤行本とともに準備し着用しましょう。